

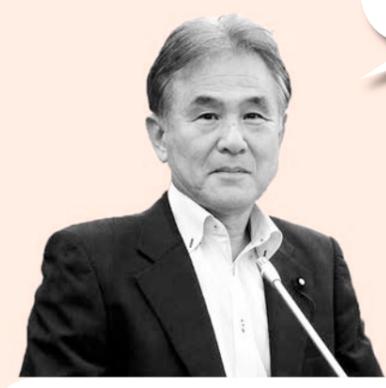
鋭く迫る！ 一般質問

町政全般にわたり、議員が町の考えを聞くのが一般質問です。9月定例会では、6人の議員が登壇し、町政をたどりました。議会だよりでは、質問と答弁の要旨をお伝えしています。全文記録（会議録）は、11月末に町ホームページに掲載予定です。

一般質問 目次

質問項目	質問者	ページ
くらし		
特定外来生物への対応は	月田 均	13
農業用水不足の解消策は	月田 均	13
防災・防犯		
防災マップを使い地域連携講習を	石内 國雄	14
総合防災マップの有効活用を	小林 一幸	18
まちづくり		
生涯活躍のまち計画の進捗状況は	宇津木 治宣	15
歴史資産を活かした交流拠点を	新井 賢次	16
総合戦略 目的を見失うな	原 利幸	17
福祉		
介護保険料がなぜ県内一高いのか	新井 賢次	16
地域包括支援センター機能のPRを	小林 一幸	18
子育て・教育		
「子育てするなら玉村町」の旗を守れ	宇津木 治宣	15
就学援助費支給制度の改善を	宇津木 治宣	15
公共施設等		
道の駅の指定管理費は適切か	月田 均	13
その他		
ふるさとまつりの再検討を	石内 國雄	14

特定外来生物への対応は



月田 均



町長

発見したのから 対策を実施



役場の前で咲いていたオオキンケイギク

質問 栽培や運搬が禁止されている特定外来生物、オオキンケイギクを町はどのよう把握し、対応しているのか。また、ほかにどのようなものがあるか。

答弁 町長 町では、オオキンケイギクについて相談や駆除の依頼を受けたことはなく、調査したこともない。発見された場合は、県や地域の方の応援をいただきながら対処していく考えだ。そのほかに、アライグマやコ

クチバス、セアカゴケグモなどが確認されており、対策を取っている。特定外来生物は自然環境に悪影響を及ぼす可能性があるため、今後もその動向に注視していく。

道の駅の指定管理費は適切か

質問 道の駅玉村宿は平成30年4月から指定管理となった。契約では、30年度に指定管理者が使用料として町に支払う指定管理費は、28年度決算をもとに算定し、1600万円とのことである。

答弁 町長 指定管理者と年度協定を結んでおり、利益が生じた場合は20%を上限に利益の一部を町に納入してもらう。しかし、29年度は4月から入場者数・売り上げともに急増し、その結果28年度に比べ大幅に収支が改善したと聞く。この事実から、指定管理費の見直しが必要と考えるが。

質問 道の駅建設に総額6億円以上の費用がかかると、この費用の回収も考えると、利益はもつと町に納入すべきと考えるが。

答弁 町長 3年契約であり、好調が継続する保証はなく、今後収益悪化の可能性もある。また、指定管理者の企業努力等についても評価が必要と考える。

農業用水不足の解消策は

質問 田植え時に農業用水の不足の問題が発生しているが、対策は。

答弁 町長 農業用水は有限であるので、これまでと同様に各農家や堰・水門などの管理者と協力し合い、節水ときめ細かな配水管理を続けていくことが重要と考える。

こんな質問もしています

- 自治体案内板の活用
- 玉村町版生涯活躍のまち事業計画の進捗は